

いか釣り漁業 公表用実技試験問題（上級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着・収納（4分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
- ② 救助ロープを装着する。
- ③ 装着物を外し、正しく収納する。

【使用機材】各自通常使用中の上記装具、ロープ（約2 m）（人数分）

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（8分）

- ①～④から3つ、⑤～⑦から2つ（エイトロープの場合は1つ）を選ぶ。
- ①かえる又結び ②巻結び ③もやい結び ④アンカーベント（錨結び）
- ⑤バックスプライス ⑥アイスプライス ⑦ショートスプライス

【使用機材】長さ2 m、中程度の太さのロープ数本（人数分）

(2) 漁具の製作・準備（20分）

リールをいか釣り機に取り付けて、漁具一式を製作の上、
リールに漁具を巻き付ける。

【使用機材】自動いか釣り機1台、テグス1 m×3、擬餌針2つ、錘1つ、
撚り戻し2つ、ハサミ（人数分）

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) ソナー等の映像判断（5分）

画像を見て操業に必要な情報を読み取る。

【使用機材】DVD再生用パソコン（ソナー映像は大日本水産会が用意）

(2) ロープの巻き上げ（5分）

ローラーとブロックを使い、錘を付けたロープを巻き上げる。

【使用機材】ロープ（約20 m）、キャプスタン等のローラーとブロックを
設備した漁船。

(3) スパンカーの展開作業（10分）

スパンカーを展開させる。

【使用機材】スパンカーを設備した漁船。

以上